



2020年4月15日

北マリナナ日本人会 会員の皆様へ

北マリアナ日本人会
会長 手塚 真人

拝啓、時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃より日本人会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

先般、2019年度北マリアナ日本人会総会をコロナウイルス対策に則り、極めて異例ではありますが人数限定で実施し、お蔭様で活動報告、及び2020年度の計画、予算、及び新理事選出について会員皆様のご承認のもと開催することができました。

今開催にあたり委任状の集約や日本人会及び補習校での事前準備作業にご尽力を頂いた会員、補習校運営員、理事の皆様には厚く御礼申し上げます。

さて2019年度は、デルタ航空のサイパン線撤退、CW査証の課題、台風26号による甚大な被害を経た厳しい冬の時代とも言える2018年度から、それを乗り越え、新しい花を咲かせて1年間だったと思います。特に11月下旬から実に14年振りとなる日系航空会社であるスカイマーク社の定期便就航は、北マリアナ日本人会のみならず、地元の方々にとっても非常に明るいニュースとなりました。久しぶりに日本人観光客がサイパン滞在を楽しまれる姿を見て、気持ちも大変明るくなったと同時に、日本との移動も極めて便利となり、北マリアナと日本との架け橋がまた築かれたことへの喜びがあったことと思います。

日本人会活動におきましては、独立記念日パレード、慰霊碑清掃、スカイマーク就航記念も兼ねた「秋祭り」、初めてガラパン小学校校庭で実施した運動会、餅つき大会など、今年度は天候の影響を受けることなく、理事も懸命に取り組む中、1年間の行事を無事実施することができました。その際に多くの会員の皆様より協賛や寄附をいただき、またボランティアとしてお手伝いを頂く等、多大なご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、2020年1月以降、世界中に多大な影響を与え続けているコロナウイルス感染症は、北マリアナにも大きな影響を及ぼし、検疫体制強化に伴う航空運航便の停止、事業自体の休業や縮小、学校休校や自宅待機等、健康や日々の生活への懸念や不安が続く毎日となっています。こうした状況がいつ頃改善されるか見通しが一切できない状況ではありますが、日本人会として策定した2020年度の運営計画と予算については、環境変化に柔軟に対応しながら、都度計画を見直し、運営をしていく所存でございます。

過去経験したことがない厳しい試練が今後も続くかもしれません。今までも色々な試練を乗り越えてきた北マリアナ地元の皆様の持つ粘り強さや、負けない気持ちを持ち続けられ、きっと必ず安心して過ごせる元の生活が戻り、復活できることを強く信じたいと思います。

日本人会理事も17名が選任され、役割担当も決定致しました。新理事体制のもと会員の皆様と一緒に北マリアナ日本人会の活動を懸命に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも何とぞ変わらぬご厚情とご厚誼を賜りますよう、まずは略儀ながら書中をもちまして御礼のご挨拶を申し上げます。

敬具